

6月10日：VN指数は堅調に推移 (VN-Index +0.24%)

- VN 指数は前日の終値をわずかに上回って寄り付いたが、すぐさま売りが強まってその上昇を打ち消す形で始まった。
- 資本財・サービス、金融・化学セクターが午前の上昇に寄与した。
- 午前の上昇から一転して午後は売り圧力が強まり、市場全体を引き下げる展開となった。
- 午後の弱気な展開は食品飲料、建築・資材、不動産セクターが中心であった。
- 243 銘柄が上昇、193 銘柄が下落、64 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は 21.3%増の 21.6 兆ドンとなった。

VN30 指数も同様の展開 (VN-30 +0.23%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、11 銘柄が上昇し、15 銘柄が下落、4 銘柄が横ばいとなった。
- GVR (+3.43%)、CTG (+2.13%)が指数を引き上げた。
- その一方で POW (-2.15%)、BCM (-2.01%)が足を引っ張った。

セクター・個別株の動き

- QTP (-0.60%)が先月のパフォーマンスが好調であったことを明らかにした。同社は 2024 年 5 月に当初の計画の 103%相当の 35.5 億 kWh を発電した。これは前年同月の発電量を 1.7 億 kWh 上回る。
- FCN (+1.33%)はタイグエン省でのプロジェクトを開始した。本プロジェクトでは 24.68 ヘクタールの土地を対象とし、投資金額は 2.25 兆ドン、建設計画は 2022 年から 2026 年としている。
- 外国人投資家は本日も大きく売り越し、1.1 兆ドンを超える売り越し額を記録した。FPT (+1.41%)、HPG (+0.00%)、VNM (-0.88%)が 1000 億ドンを超えて大きく売り越された一方で、買い越しはどの銘柄でも軽微であった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。